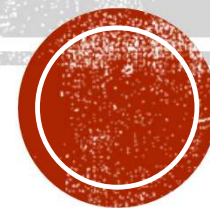


# 事後課題記載・ 作成方法

令和5年度 専門研修Ⅱ





## 記載・作成例(架空事例)

〇〇地域における老々世帯の主介護者が要介護になった事例への支援から捉える地域課題

専Ⅱ-2-358 工藤 英明

### 1. はじめに

老々世帯の主介護者が要介護状態になった事例の支援を振り返り、老々世帯が抱える在宅生活継続の脆弱性などの課題が気になった。たとえ状態像が一緒であっても、家族や経済など様々な環境要因により、生活ニーズは異なる。そこで(本レポートでは)、〇〇市における老々世帯の状況から、老々世帯支援に関する地域課題とその解決方法を検討することを目的とする(試みる)。

### 2. 本事例の状況

Aさん75歳男性、脳梗塞後遺症左まひ、要介護1、A2=自立、家事以外の自宅内のことには時間がかかっても概ねできる。サービスはデイケア 2/w。家族は妻と二人暮らし。子供はいない。県内に親せきはいない。食事に関しては妻の作ったものしか食べない。〇年〇月妻が倒れ入院、当面のAさんの食事支援を訪問介護、ショートステイ、有料などの施設入所を検討するも、本人は状況を理解しつつも当初はすべて拒否。時間を要したが、〇か月後施設入所に至る。妻は寝たきりとなり別の施設に入所となる。

### 3. 〇〇市の老々世帯の実態

〇〇市は人口△万人、一次産業を中心とした地域であり、高齢化率 45%である。〇〇市第8期介護保険事業計画によると老々世帯数は、全世帯数〇〇世帯のうち老々世帯は〇〇世帯〇%を占めている。一方、要介護認定率は△%であり、推計すると高齢者世帯のうち□%に要介護高齢者がいると考えられる。つまり、高齢者世帯のうち××世帯では、ひとりが要介護高齢者と捉えることができる。隣の\*\*市の事業計画から同様に推計すると▼▼世帯、国の高齢社会白書のデータと照らし合わせても多く、〇〇市の特徴的な地域課題といえる。要介護高齢者を抱える高齢者世帯では、当然ながら主介護者も高齢者であり、主介護者が疾病または要介護に至る可能性は高く、多くの場合、その時点で在宅生活の継続は困難となる(〇〇, 2020)。現在、介護老人福祉施設の入居要件は原則要介護3以上である。要介護1で入所できる施設も限られるため、〇〇市の施設状況を WAM ネットと県の有料老人ホーム一覧で調べてみたところ、在宅で暮らしていると予想される要介護2以下の人数〇〇人に対して、有料老人ホームは〇〇床であった。

### 4. 考察

本レポートでは、老々世帯の主介護者が倒れた事例への支援を通して、〇〇地域に類似事例がどの程度存在し、それを支える資源はどのような状況なのかを調べた。老々世帯は高齢者の一人暮らし同様、在宅生活継続の基盤は弱いと考えられる。調べた結果から、〇〇市は、他の地域よりも老々世帯が多い傾向にあるため、高齢者双方が要介護になっても在宅で支えていくためのサービスを検討していく必要があるのではないかと考えた。なぜならば、ケアマネジメント(架空支援)の目的そのものが「在宅生活の支援をササードプレイ

コメントの追加【工藤1】: 端的に、これから何を目的に、何を書くのか?

コメントの追加【工藤2】: 簡単に要約。

コメントの追加【工藤3】: 地域課題と思われる事象を客観的にとらえられるよう、何らかの資料で地域実態を調べ、その内容を整理し、「地域課題」を言及する。地域課題言及に関しては、文献・資料の裏付けが望ましい。2.で取り上げた事例から、何を読み取り、同様の事例または課題が地域でどの程度存在するのか、調べる必要がある。

〈別の裏付け例〉例えば、地域のケアマネ連絡会で、全ケアマネ 30 名のうち、8 割のケアマネが老々世帯を担当し、主介護者が倒れ、在宅生活継続困難になった事例が、10 事例あった。なども考えられる。この場合、地域課題といえるほど共通している課題なのかまでは言及しきれないので、考察で限界点とそれを今後裏付けていくための方策を示すことになる。

コメントの追加【工藤4】: 結局、普遍化、一般化されたと考えられる地域課題は何か、その理由とそれを解決しなければ、どんな状況になるのか、そのためには何をしなければならないのか、今回調べた結果に対して、残された課題は何か。

## ケアマネジメント における 多職種連携 実践事例集

公益社団法人青森県介護支援専門員協会＝監修  
木村隆次・工藤英明＝編集

中央法規

3訂／介護支援専門員研修テキスト

介護支援専門員  
専門研修課程Ⅱ





地域課題を調べた地域を具体的に記載

例：十和田市

〇〇地域における老々世帯の主介護者が要介護になった事例への支援から捉える地域課題

専Ⅱ-2-358 工藤 英明

### 1. はじめに

老々世帯の主介護者が要介護状態になった事例の支援を振り返り、老々世帯が抱える在宅生活継続の脆弱性などの課題が気になった。たとえ状態像が一緒であっても、家族や経済など様々な環境要因により、生活ニーズは異なる。そこで(本レポートでは)、〇〇市における老々世帯の状況から、老々世帯支援に関する地域課題とその解決方法を検討することを目的とする(試みる)。

コメントの追加 [工藤1]: 端的に、これから何を目的に、何を書くのか?





「事例検討」ではありません。事例を簡単に要約します。

不適切な記載：  
事例の説明だけで、課題文字数の半分以上を占める

## 2. 本事例の状況

Aさん 75歳男性、脳梗塞後遺症左まひ、要介護1、A2-自立、家事以外の自宅内のことは時間がかかっても概ねできる。サービスはデイケア 2/w。家族は妻と二人暮らし。子供はいない。県内に親せきはいない。食事に関しては妻の作ったものしか食べない。○年○月妻が倒れ入院、当面のAさんの食事支援を訪問介護、ショートステイ、有料などの施設入所を検討するも、本人は状況を理解しつつも当初はすべて拒否。時間を要したが、○か月後施設入所に至る。妻は寝たきりとなり別の施設に入所となる。

コメントの追加 [工藤2]: 簡単に要約。





要約した事例内容から読み取ったこと、同様の事例または課題がどの程度存在するか調べる

例：〇〇市→十和田市

### 3. 〇〇市の老々世帯の実態

〇〇市は人口△万人、一次産業を中心とした地域であり、高齢化率 45%である。〇〇市第8期介護保険事業計画によると老々世帯数は、全世帯数〇〇世帯のうち老々世帯は〇〇世帯〇%を占めている。一方、要介護認定率は△%であり、推計すると高齢者世帯のうち□%に要介護高齢者がいると考えられる。つまり、高齢者世帯のうち××世帯では、ひとりが要介護高齢者と捉えることができる。隣の\*\*市の事業計画から同様に推計すると▼▼世帯、国の高齢社会白書のデータと照らし合わせても多く、〇〇市の特徴的な地域課題といえる。要介護高齢者を抱える高齢者世帯では、当然ながら主介護者も高齢者であり、主介護者が疾病または要介護に至る可能性は高く、多くの場合、その時点で在宅生活の継続は困難となる(〇〇, 2020)。現在、介護老人福祉施設の入居要件は原則要介護3以上である。要介護1で入所できる施設も限られるため、〇〇市の施設状況を WAM ネットと県の有料老人ホーム一覧で調べてみたところ、在宅で暮らしていると予想される要介護2以下の人数〇〇人に対して、有料老人ホームは〇〇床であった。

**コメントの追加 [工藤3]:** 地域課題と思われる事象を客観的にとらえられるよう、何らかの資料で地域実態を調べ、その内容を整理し、「地域課題」を言及する。地域課題言及に関しては、文献・資料の裏付けが望ましい。2.で取り上げた事例から、何を読み取り、同様の事例または課題が地域でどの程度存在するのか。調べる必要がある。

〈別の裏付け例〉例えば、地域のケアマネ連絡会で、全ケアマネ30名のうち、8割のケアマネが老々世帯を担当し、主介護者が倒れ、在宅支援継続困難になった事例が、10事例あった。なども考えられる。この場合、地域課題といえるほど共通している課題なのかまでは言及しきれないので、考察で限界点とそれを今後裏付けていくための方策を示すことになる。





#### 4. 考察

本レポートでは、老々世帯の主介護者が倒れた事例への支援を通して、〇〇地域に類似事例がどの程度存在し、それを支える資源はどのような状況なのかを調べた。老々世帯は高齢者の一人暮らし同様、在宅生活継続の基盤は弱いと考えられる。調べた結果から、〇〇市は、他の地域よりも老々世帯が多い傾向にあるため、高齢者双方が要介護になっても在宅で支えていくためのサービスを検討していく必要があるのではないかと考えた。なぜならば、ケアマネジメント(居宅介護支援)の目的そのものが、在宅生活の支援を支えるサービスとして

コメントの追加 [工藤4]: 結局、普遍化、一般化されたと考えられる地域課題は何か、その理由とそれを解決しなければ、どんな状況になるのか、そのためには何をしなければならないのか、今回調べまとめた結果に対して、残された課題は何か。

(1540 字)

コメントの追加 [工藤5]: 文字数を確認し示す。

考察の最後に文字数を確認し、示す

Wordでの確認方法 「校閲」→「文字カウント」









新しいデータを使用する  
例：介護保険事業計画は「第8期」が最新

## 5. 資料

- ・〇〇市第8期介護保険事業計画. 〇〇〇〇.
- ・〇〇市介護予防。日常生活圏域ニーズ調査報告書. △△△△.
- ・\*\*市第8期介護保険事業計画. 〇〇〇〇.
- ・内閣府「高齢者白書」〇〇〇〇.
- ・〇〇委員会編「介護支援専門員基本テキスト」第1巻. 長寿社会振興センター. 2021.
- ・WAM ネット. [http://www.AAAAAA.BBBBBB.CCCCCC](http://www.AAAAAAA.BBBBBB.CCCCCC). (2021. 8. 20 閲覧)
- ・××県 HP. [http://www.AAAAAA.BBBBBB.CCCCCC](http://www.AAAAAAA.BBBBBB.CCCCCC). (2021. 8. 20 閲覧)

コメントの追加【工藤6】: 調べたものを示す。

資料は、出所「題名」年.

本は、著者「題名」出版社.年.

ネット資料は、公的機関に限り、出所「題名」URL.閲覧日.





# 再提出となるレポート例

- 課題を間違う 例：指定は「看取り」なのに「入退院」の事例を使用する
- 文字数が規定（1200字以上1600字未満）にみたっていない。
- 地域を明確にしていない。例：〇〇市のまま
- 事例検討をしている  
例：要約した事例が地域で生活するために、具体的なサービス内容を記載している。





全てのタグ

キーワード入力

検索



絞り込みなし

### 介護支援専門員実務研修



2% ★介護支援専門員実務研修

座学 講義・演習 演習

無期限

### 専門研修Ⅰ



1% ★専門研修Ⅰ

座学 講義・演習 演習

無期限

### 専門研修Ⅱ



0% ★専門研修Ⅱ

座学 講義・演習

無期限

### 主任介護支援専門員更新研修



0% ★主任介護支援専門員更新研修

座学 講義・演習

### 主任介護支援専門員更新研修 研修記録シート



0% ★主任介護支援専門員更新研修 研修記録シート

研修記録シート

### 主任介護支援専門員研修



0% ★主任介護支援専門員研修

座学 講義・演習





-  [座学]介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開
-  [講義・演習]リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
-  [講義・演習]認知症に関する事例
-  [講義・演習]家族への支援が必要な事例
-  [講義・演習]社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
-  [講義・演習]状態に応じた多様なサービスの活用に関する事例
-  [講義・演習]看取り等における看護サービスの活用に関する事例
-  [講義・演習]入退院時等における医療との連携に関する事例

例：課題が「入退院等～」における場合







ケアマネジメントの各プロセスにおける留意点



## 📁 終わりに



終わりに



確認テスト（完了）



## 📁 演習前 課題提出



事前課題提出



## 📁 演習



第1回



第2回



第3回



第4回



第5回



## 📁 演習後 課題提出



演習後課題提出



クリック





ケアマネジメントの各プロセス

終わりに

終わりに

確認テスト (完了)

演習前 課題提出

事前課題提出

演習

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

演習後 課題提出

演習後課題提出

演習後課題提出

受講開始

閉じる

クリック





以下の設問に回答してください。

Q.1 必須

演習後の成果物をファイルに添付し提出してください。(100点)

ファイルの選択 ファイルが選択されていません

クリック



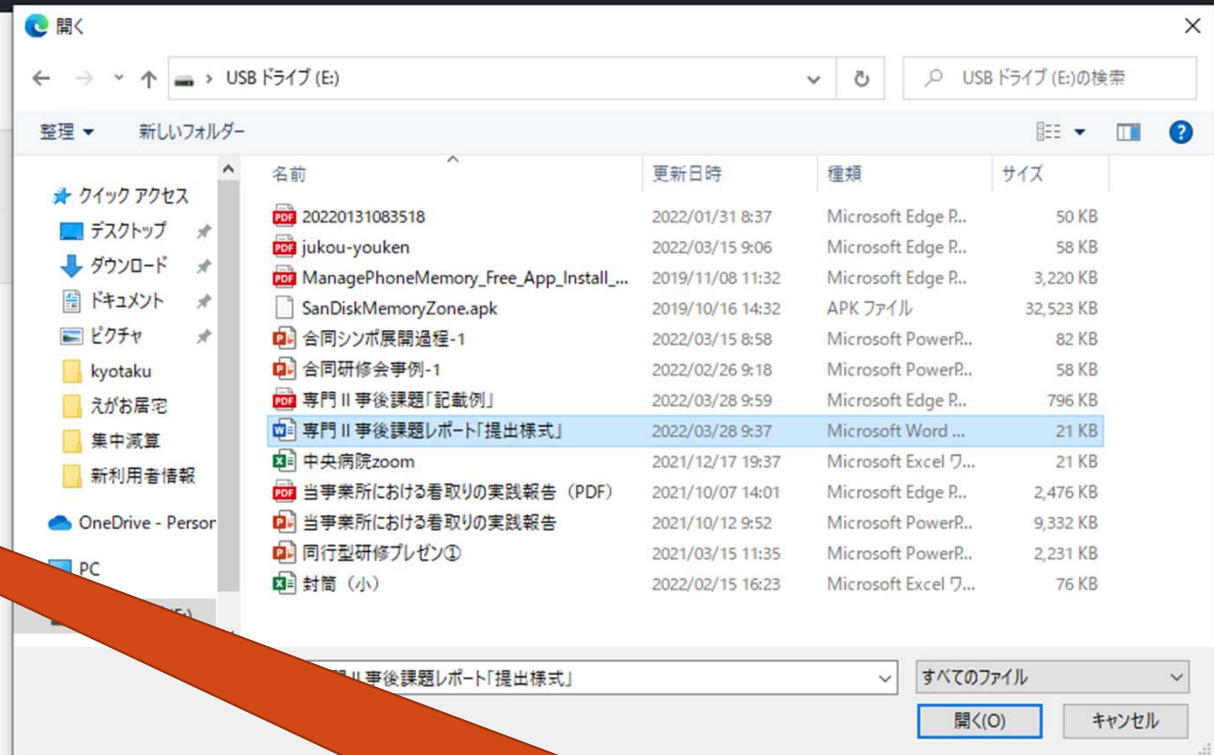


以下の設問に回答してください。

Q.1 必須

演習後の成果物をファイルに添付し提出してください。(100点)

ファイルの選択 ファイルが選択されていません



重要：名前の変更をお願いします

「受講番号 名前」

例：専Ⅱ-001 研修花子





以下の設問に回答してください。

Q.1 **必須**

演習後の成果物をファイルに添付し提出してください。(100点)

ファイルの選択 専門Ⅱ事後課…出様式」.docx

クリック

確認 >





以下の内容で回答します。よろしいですか？

Q.1 **必須**

演習後の成果物をファイルに添付し提出してください。(100点)

専門Ⅱ事後課題レポート「提出様式」.docx

クリック

回答 >





以下の内容で回答しました。

Q.1 **必須**

演習後の成果物をファイルに添付し提出してください。(100点)


専門Ⅱ事後課題レポート「提出様式」.docx

クリック

終了 ➤





 ケアマネジメントの各プロセスにおける留意点

...

## 終わりに

 終わりに

...

 確認テスト（完了）

...

## 演習前 課題提出

 事前課題提出

...

## 演習

 第1回

...

 第2回

...

 第3回

...

 第4回

...

 第5回

...

## 演習後 課題提出

 添削中 演習後課題提出

...









ホーム / ★専門研修Ⅱ / [講義・演習]入退院時等における医療との連携...

演習後課題提出 ▼

◀ 前の単元

次の単元 ▶

実施回	実施時間	状況	提出日
1 回	00:01:19	確認待ち	2022/03/28 10:06:19





# 提出期限

- 研修終了後2日以内（9月21日まで）
- 研修終了後5日後（9月24日が日曜日の為、9月25日）に修了証を発行します。
- その後講師・ファシリテータによる添削があり、場合によっては再提出を課されることがあります。





# 課題確認について

- 講師、ファシリテーターが「研修記録シート」「事後課題」についてコメントを入れ受講生にお返し致します。
- 課題確認期日を令和5年10月中旬までとしておりますので、コメントが返るまでしばらくお待ちください。
- 再提出の場合は、担当者より提出期日が課せられますので確認して再提出してください。

